

子ども学の源流を次世代につなぐ

幼児の教育

[特集] 保育現場で気になるコトバ考

「評価」って何だ？

[実践研究] 私の保育ノート

変わるもの・変わらないもの

[子ども学探訪] 倉橋惣三とキンダーブック

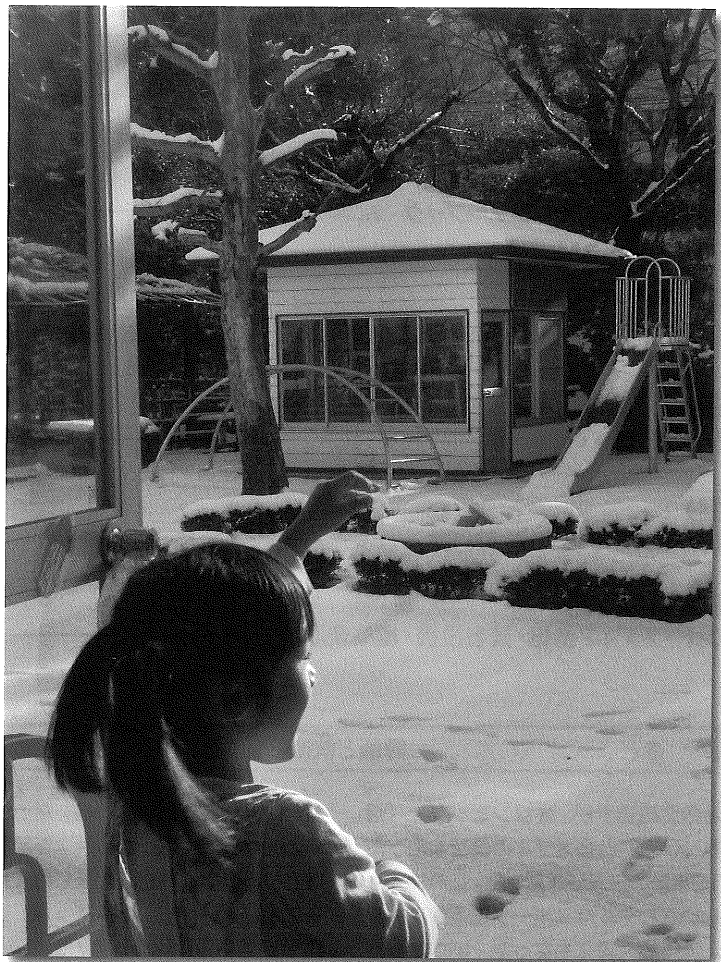
敗戦後復刊されたキンダーブック

冬

2014

2015

since 1901



雪の日の朝

「わあ！ まっしろ」

子どもの情景

目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある
ステンドグラスの模様をデザイン化したものです。

【写真】

子どもの情景 ①

【目次 まど】

評価と快楽 ②

【特集】

保育現場で気になるコトバ考 4

「評価」って何だ？

幼児期の教育における評価 神長美津子 ④

今回の特集について ⑧

「主体的な語り合い」が育む保育の質 ～ 保育カンファレンス再考 ～ 松永静子 ⑩

柔軟な姿勢で新しい評価を 光畑由佳 ⑭

『幼児の教育』アーカイブズから 解説・草信和世 ⑱

【シリーズ】

子どもが育つ場所から

お母さんが元気であることが保育の原点 武田京子 ⑳

【実践研究】

私の保育ノート

これまでの保育を振り返って 齊藤雅子 ㉓

変わるもの・変わらないもの 森藤郁子 ㉖

【保育エッセイ】

保育の世界を豊かに生きる子どもたち ④

「会話すること」と「みんなの前で話すこと」における子どもの生 榎沢良彦 ㉔

【本棚】

古典の散歩道

“奇跡の人”とはだれか 『ヘレン・ケラー自伝』 佐治 恵 ㉗

【子ども学探訪】

編輯顧問 倉橋惣三 とキンダーブック ⑫

敗戦後復刊されたキンダーブック 浜口順子 ————— 50

【報告】

「そばにいて育つ — お茶大附属『幼保』のかかわり —」 私市和子・宮里暁美・浜口順子 ————— 56

【論考】

アメリカから帰って 津守 眞 ————— 62

【目録】

『幼児の教育』平成26年 総目録 ————— 70

【子ども学のひろば】

イベント・メディア情報・読者投稿・編集後記他 ————— 71

まど

評価と快楽

水泳の北島選手が、オリンピックで「超気持ちいい！」と金メダルの喜びを語ったのは10年前の2004年だった。これは人々に新しいさわやかなスポーツ選手像を印象付け、流行語大賞にもなった。いつからだろう、何か偉業を成し遂げたスポーツマンが「楽しめてよかった」などと、さりげなく話すのをテレビでよく見かけるようになった。さぞ大変な努力をしてきたのだろうに……と凡人の私は思ってしまう。

今号の特集テーマは「評価」——。昭和の高度成長期のモットーは、「根性」「努力」「忍耐」、いわゆる「スポ根」魂である。勝

利とは「血と汗と涙の結晶」だったのである。その時代、官庁や企業は年功序列制度をとり、こつこつと長くまじめに勤め上げることが人事評価の基準だった。個人的資質や能力の違いは（一応）二の次とされ、うまくいかないと「忍耐」や「努力」が足りないと自責する人間を育ててきた。それが今、個人的能力や成果を評価する時代へ転換しつつある。人々はその中で、自己の能力・成果を上げるには「楽しむ」ことが効果的であること、仕事と「楽しむ」とは矛盾せず、それこそが人生の質を高めるカギであることを感じ始めている。(H)

編集後記

今年度は、特集として【保育現場で気になるコトバ考】ということで、「安全」「研修」「子どもの最善の利益」「評価」と、保育現場の中ではちょっと敬遠してしまいがちなテーマをあえて掲げました。

冬号は、「評価」。「評価」という言葉には、何らかの基準に照らし合わせて客観的に価値を決めていくという印象があり、保育にはそぐわないように思われがちです。保育は、一人ひとり違う子どもたちがその子らしく成長していけるように、一人ひとりに合わせて保育者が日々かかわっていく行為の積み重ねであり、目に見えるような「結果は遠きにある」(倉橋惣三「就学前教育」より)ものだからです。

いろいろなことが目まぐるしく展開していく日々の保育の中では、立ち止まってゆっくり考えている暇はありません。子どもたちと一緒に過ごす時間が自分の「身体」をくぐり抜けていきます。子どもた

ちと応答的に過ごした時間の名残がまだ残っている「身体」で、日々の保育を振り返ることの大事さが今号においては貫かれているように感じました。倉橋の語っている「保育の味」もそうです。味は「身体」で感じるもの。保育における「評価」というものは、子どもが感じているものを一緒に感じようとする保育者の「身体性」を抜きにしては語れないということを改めて感じました。佐治先生の『ヘレン・ケラー自伝』の中に書かれている「随っていく身体」(保育者の身体)という表現も、保育者の「身体」の在り方についての鋭い指摘が含まれていました。

もう一つ今号で共通して語られていたことは、同僚と共に保育について語り合う時間の大事さであります。神長先生の「私の保育」から「私たちの保育」、さらには「わが園の保育」という言葉が深く心に響いてきました。(I)

次号予告 幼児の教育 春号 2015年3月刊行予定

新企画、新連載がスタート! 充実した内容でお届けします。

特集 保育現場で気になるコトバ考 5 - 「居場所」って何だ? - 関口はつ江氏ほか

新連載 保育エッセイ 河邊貴子氏

コーナー 古典の散歩道 第5回 穴戸洋子氏

※タイトル内容が変更になる場合もあります。

幼児の教育 冬号 第114巻 第1号

平成27年1月1日発行
編集発行人/浜口順子
編集担当/田中恭子
発行所/日本幼稚園協会
〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所/株式会社フレーベル館
電話:03-5395-6604(編集)
振替/00190-2-19640
印刷所/図書印刷株式会社
定価/本体741円+税
©日本幼稚園協会 2015 Printed in Japan

編集委員/伊集院理子
菊地知子
高橋陽子
灰谷知子
編集協力/フレーベル館

●ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

子どもがあそびたくなる 草花のある園庭と季節の自然あそび



子どもがあそびたくなる
草花のある園庭と
季節の自然あそび

大豆生田啓友 著
ひかりの子幼稚園・めぐみの子幼稚園

「子どもは植物のポイントを
四季の自然あそびや
写真集のイラスト
などから学びたい」と
子どもと大人の行事

10944

自然あそびが変わる！

子どもがあそびたくなる自然環境づくりと
自然を使った保育のアイデアがいっぱいです。
「保育ナビ」人気連載中の
大豆生田啓友先生、
表紙写真家小西貴士先生の最新刊！

内容

- ★ 1章 四季を感じる 自然あそび
- ★ 2章 子どもとつくる 四季の味
- ★ 3章 草花いっぱい の 園庭づくり
- ★ 4章 子どもとつくる 四季の行事

大豆生田啓友／編著 小西貴士／写真協力
ひかりの子幼稚園・めぐみの子幼稚園／著

定価 本体 1,700円＋税 26×19cm 80ページ



身近な自然を使ったあそびのアイデア



写真とイラストを多用しわかりやすい！



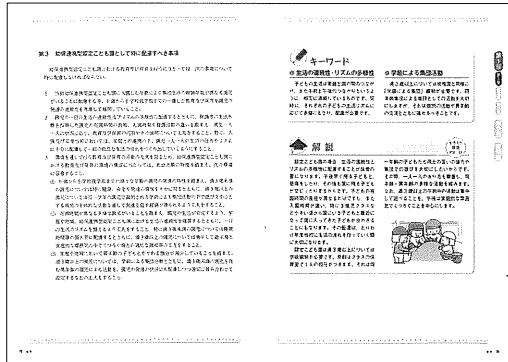
認定こども園での実践にすぐ役立つ 幼稚園・保育所は今後の基本資料に



はじめての幼保連携型認定こども園 教育・保育要領 ガイドブック

無藤 隆 / 著 定価 本体1,000円+税 26×19cm 128ページ

平成26年4月30日に告示された幼保連携型認定こども園教育・保育要領の全文を解説。認定こども園の保育者はもちろん、預かり保育を行う幼稚園、教育機能に力を入れる保育所の保育者にとっても、参考になる1冊です。



実践に役立つ
イラスト解説付き！

34520

条文・キーワード・解説が見開きで読みやすい

POINT1 3つのステップで、1からわかる！

1
条文

2
キーワード

3
解説

を見開きで展開。条文のポイントが体系的に理解できます。

POINT2 要領・指針との関係がわかる！

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」
「幼稚園教育要領〈平成20年告示〉」
「保育所保育指針〈平成20年告示〉」
の比較表で条文の対応関係が一目わかります。

幼保連携型認定こども園 教育・保育要領

〈平成26年告示〉

幼保連携型 認定こども園 教育・保育要領

〈平成26年告示〉

フレーベル館 / 編
定価 本体150円+税
21×15cm 32ページ

34510

平成26年告示の「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の全文を掲載。

お求めやすい価格です！

保育に迷った時に読む“珠玉のことば”集

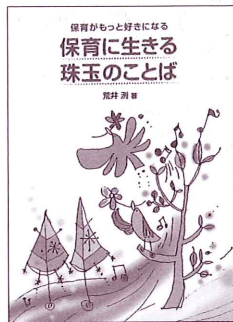
保育をもっと楽しむ!

保育がもっと好きになる 保育に生きる珠玉のことば

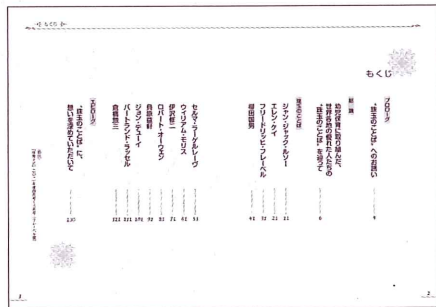
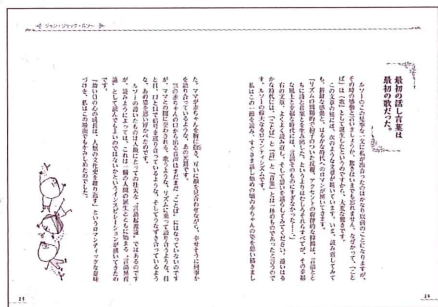
荒井 洌/著 定価 本体1,200円+税 19×13cm 132ページ

ルソーやフレーベル、倉橋惣三など、先達が遺してくれた、保育に生かせるヒントが詰まった「珠玉のことば」の数々。

「保育観・子ども観」の道標として役立つ1冊。



10947



荒井 洌の関連書籍

33400



倉橋惣三 保育へのロマン

倉橋は決して古くない! 日本保育界の巨人・倉橋惣三の思想と理論を、現代の保育現場に活かす道を示した注目の1冊。

定価 本体2,000円+税
21×15cm 220ページ

36600



エレン・ケイ 保育への夢 『児童の世紀』へのお誘い

エレン・ケイが執筆した『児童の世紀』。ここでは、現代の保育や子育てへの素晴らしい示唆が随所に紹介されている。

定価 本体2,000円+税
21×15cm 176ページ

10743



園をみどりのオアシスへ 幼児保育における放牧の思想

北欧保育と今こそ求められている倉橋惣三やエレン・ケイの保育観を融合した、新しい保育のあり方(オアシスとしての園)を提案。

定価 本体1,700円+税
21×15cm 180ページ

定価 本体七四一円+税